

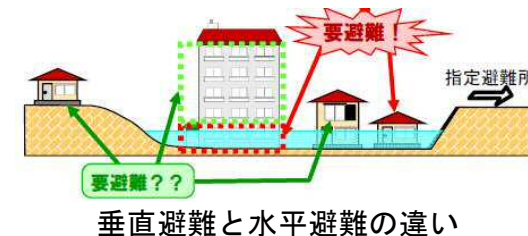
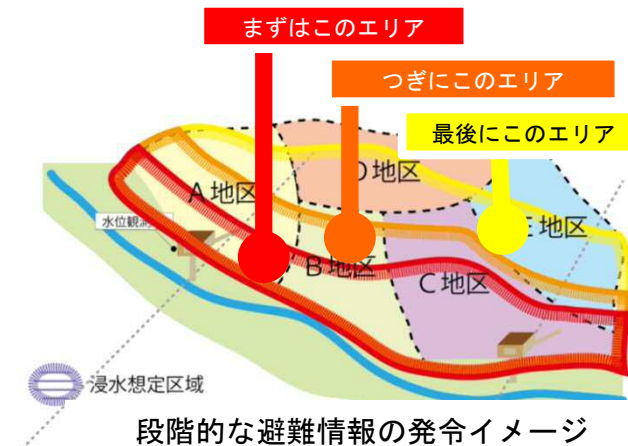
～三条市～

## より精緻な避難誘導の在り方についての検討

三条市では水害時における避難は、自宅の2階等への垂直避難が原則

### 【平成29年度の取組】

- 必ずしも垂直避難では安全が確保できない地域にお住まいの方の避難行動等をより精緻にサポートするため、河川が破堤した場合における浸水深や到達時間などといった各地域の特性を分析し、それらを踏まえた段階的な避難情報の発令を含む避難誘導の在り方について検討を行う。
- 上記検討にあたっては、三条市防災対策総合アドバイザーである東京大学の片田敏孝特任教授や河川管理者などの関係機関と連携して検討を進める。



## 防災気象アドバイザーの雇用

### 【平成29年度の取組】

- 市の単独事業として6月から9月までの出水期に气象台での勤務経験を有する方を防災気象アドバイザーとして雇用
- 災害対策本部における避難情報の発令等に関するアドバイスや職員に対する防災気象情報の読み解き方の指導に加え、地域の気象災害に対する関心や知識を高めるための出前講座等を実施
  - ・ 嘱託職員として雇用（行政課防災対策室に常駐）
  - ・ 嘱託員報酬及び住宅借上料を予算として計上
  - ・ 上記の経験を有し、新潟県の気象特性や地勢に精通した方を雇用



平成28年度三条市水害対応総合防災訓練時の災害対策本部の様子（気象庁モデル事業により派遣された気象予報士）